

2025.10.30

令和 7 年度 和坂小学校・環境体験学習桜守活動報告

藤原春善(1093)

- 1, 活動日時：2025 年 10 月 30 日 13 時 30 分～15 時 30 分 晴
- 2, 活動場所：和坂小学校
- 3, 活動人員：和坂小学校（教頭・近藤先生・3 年生）55 名
まちづくり協議会サポート隊 6 名・桜守ボランティア 6 名
兵庫県樹木医会樹木医（和田・山中・藤原）

4, 活動内容

- (1) 山中樹木医による土色と硬さによる土の見分け方の説明
- (2) 環境体験学習内容

校内のソメイヨシノを 3 班編成で、観察調査指導した。

- 1 班：須賀、蓬萊、松尾、2 班：藤原、松阪、岩澤、河田、
3 班：和田、山中、新出、尾崎、奥田

① 土壌改良

- ・表土はドライバーで、土を柔らかくする。
- ・穴掘り用オーガー、ダブルスコップ等による穴掘りをして、割竹埋設法で長さ 30cm の割竹（筒内に腐葉土を入れる）を 1 本あたり 2 個埋設する。

② 幹のコケ（地衣類）の剥ぎ取り

- ・たわしで、コケ（地衣類）を剥がし、木肌をきれいにする。
- ・木肌をきれいにし、病虫害の痕跡等を見つけやすくする。

③ 除草

- ・侵略的外来種及びヨモギ(サクラフシアバラムシの中間宿主)を除草する。

(3) 調査結果

2 班	種類	高さ cm	周径 cm	枝葉	幹	根元・土壌
NO19	ソメイヨシノ	157	19	葉少枝枯れ	揺らぎあり	12～18mm 適 25cm 以深堅硬
NO20	ソメイヨシノ	310	88	葉多い、 太枝にヒラ タケ着生	心材腐朽、ウ メノキゴケ 着生	8～16mm 適 25cm 以深堅硬

① 枝葉

- ・NO19 葉の量は非常に少なく、枯れ枝が目立ち衰退していた。
対策としては、枯れ枝を剪定し、切除部の殺菌処理を行う。

- ・ NO20 葉の量は良好であり、枯れ枝も少なく良好であった。

しかし、太枝にヒラタケ（白色腐朽菌）が着生し、枝分かれした枝は心材腐朽しているため、形成層のみで生育していた。

対策としては心材腐朽部及びヒラタケの着生している場所の切除し、殺菌処理する。

② 幹

- ・ NO19 木肌はきれいで健全であるが、多少揺らぎがあった。

対策としては根元の土壌改良をし、胴吹きを適正に管理する。

- ・ NO20 幹のウメノキゴケ（地衣類）が着生していた。

対策としては、ウメノキゴケを除去し、木肌をきれいにし健全にする。

③ 根元・土壌

- ・ NO19 表土の土壌硬度は良好であった。しかし、土壌深度 25cm 層は非常に硬く（26mm 以上）根の侵入が困難であった。

対策としては根の成長を良くするために土壌深度 40cm まで掘り返す又は挿棒で穴をあける。

- ・ NO20 表土の土壌硬度は良好であった。しかし、土壌深度 25cm 層が非常に硬く（26mm 以上）根の侵入が困難であった。

対策としては根の成長を良くするために土壌深度 40cm まで掘り返す、又は挿棒で穴をあける。



NO19 先端部切除されたソメイヨシノ NO20 心材腐朽したソメイヨシノ・ヒラタケ（白色腐朽菌）着生